

(1)「中期計画」と文学部の研究活動

倉地克直（文学部長）

1) 基本方針

a) 個人・グループによる研究活動の活発化

b) 重点研究の推進

2) 財源と成果の公表

a) 学術振興会科学研究費交付金／学長裁量経費／部局長裁量経費による助成

b) 報告書の刊行…【資料 1】

3) 「中期計画」の研究課題

a) 日本文化の固有性

b) 空間情報科学を用いた歴史学・考古学をはじめとする人文科学研究の推進

c) ジェンダーの多様性・普遍性・可変性の分析およびジェンダー教育プログラムの立案を含む学際的研究

d) 東方アジアの文化共生・地域共生（社会文化科学研究科・文学系）

【資料 1】 部局長裁量経費による文学部プロジェクト研究

平成 13 年度

「研究者の役割と地域研究」（代表者・中藤康俊教授）

「比較家族研究」（代表者・本池立教授）

「日本幻想小説の詩学と物語論」（岩松正洋助教授）

平成 14 年度

「語り出す図像」（代表者・佐藤智水教授）

[研究成果刊行]『比較家族研究』

平成 15 年度

「日本における美的観念の変遷—芸道の成立まで—」（代表者・渡辺護教授）

「自然言語における多様性と普遍性」（代表者・和田道夫教授）

[研究成果刊行]『研究者の役割と地域社会』

『日本幻想小説の詩学と物語論』

平成 16 年度

「ヨーロッパ的なもののルネサンス—その光と影—に関する研究」

（代表者・吉田浩助教授）

「吉備地方における「雄略朝」期の終末期古墳の解明」（代表者・松木武彦助教授）

[研究成果刊行]『語り出す図像』

平成 17 年度

「ジェンダー概念の学際的検討—多様性と普遍性をめぐって—」

（代表者・新村容子教授）

「洛陽の史的研究」（代表者・佐川英治助教授）

[研究成果刊行]『日本における美的観念の変遷—芸道の成立まで—』

『自然言語における多様性と普遍性』